



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2025/03/27

研究課題名	心臓大血管救急における ICT を用いた革新的医療情報連携方法の普及と広域救命救急医療体制確立に資する研究
研究の対象	急性冠症候群、大動脈緊急症(急性大動脈解離、大動脈瘤破裂)を発症して下記のデータベースに匿名化されて登録されている患者群を対象とします。
研究目的・方法	<p>急性大動脈解離や破裂性大動脈瘤を含む大動脈緊急症に対する手術手技は確立し、血管内治療の活用も相まって徐々に治療成績は向上しつつありますが、他の心臓血管外科疾患に比べると依然として死亡率はまだ高いと言えます。また、急性心筋梗塞をはじめとする冠動脈救急疾患の治療成績は向上していますが、大きな地域差も存在しています。</p> <p>さらなる治療成績向上には、地域における心臓大血管救急医療体制改革による迅速かつ効率のよい患者搬送と受け入れ病院側の質向上が必要と考えます。折しも、循環器病対策基本法が制定され、心臓大血管救急が一つの注力すべき疾患群として挙げられております。冠動脈救急においては、治療可能な病院が多く存在し、迅速に治療できる体制はある程度整いつつあります。一方、大血管救急の治療方針決定には画像情報が必須ですが、搬入前に詳細な画像を得ることは難しい状況です。最近、旭川医科大学におけるクラウド型遠隔医療の活用研究において、事前に前医で撮影した画像を入手することで、正確な画像情報に基づいた迅速なデバイス準備、手術室・人員確保による初療から根治的治療開始までの時間 (door to intervention time) 短縮が示されています。</p> <p>本研究では、既存のデータベースを利用し、心臓大血管救急の治療成績に影響する因子を患者要因や重症度、医療提供側の要因、地域の医療体制の3方から解析して、日本における実状、課題を明らかにすること、および、遠隔医療など ICT を用いた医療施設間連携の有用性について、各種データベースを統合解析することで明らかにし、最終的に、心臓大血管救急治療体制を地域に実状に合わせていかに構築してゆくべきかを導くエビデンスを集積することにあります。</p> <p>研究期間：許可日～2025年12月</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p><input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細： 下記参照ください )</p> <p>手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名： )</p> <p>血液</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (医療機関に対する ICT 利用に関するアンケート調査 )</p> <p>【用いるデータベースとその特徴】下記のデータベースにある患者情報はいずれも匿名化されています。</p> <p>JCVSD (Japan Cardiovascular Surgery Database/ NCD (National Clinical Database) データベース：全国規模の外科手術データベース。対象例数 (2013～2021年分)：約7万件)</p> <p>診療情報：年齢、性別、手術を要した疾患の病名、疾患重症度、手術術式、手術後1か月の予後。</p> <p>JROAD (The Japanese Registry of All Cardiac and Vascular Disease) および JROAD DPC データベース：循環器疾患で治療を受けた全国規模のデータベースであり、手術を受けなかったあるいは手術に至らなかった患者群を含んだ包括的なデータベース。対象例数 (2016～2020年分)：約10万件)</p>



	<p>診療情報：年齢、性別、診断名、治療の際に使用された薬剤やデバイス名、治療後1か月の予後、治療を受けた病院の質指標。</p> <p>JMDC Claimsデータベース：診療レセプトのデータベース。対象例数（2016～2020年分）：約40,000件）</p> <p>診療情報：年齢、性別、診断名、診療で使用された薬剤やデバイス、診療コスト</p> <p>東京都CCUネットワークデータ：東京都CCUネットワークで記録された心臓大血管救急患者のデータベース。対象例数（2015～2019年分）：約10,000件）</p> <p>診療情報：年齢、性別、疾患名別症例数、搬送時間、搬入後から治療開始までの時間。入院死亡率。</p> <p>破裂性腹部大動脈瘤に対する開腹手術とステントグラフト内挿術の治療選択に関する全国多施設観察研究データ(JEWELRYデータ)：日本血管外科学会が主導している破裂性腹部大動脈瘤患者の観察研究データベース。対象例数（2018～2021年分）：約1,500件）</p> <p>診療情報：年齢、性別、破裂重症度、破裂例の発症から初療そして根治的治療に至る時間経過、治療方法、合併症、予後の詳細。</p> <p>大動脈末梢動脈救急治療における医療機関連携に関する多施設臨床データ(MOBILE Aortic研究)：大動脈緊急症を対象とした全国大学病院11施設の多施設臨床研究データベース。対象例数（2018～2021年分）：約2,200件）</p> <p>診療情報：年齢、性別、疾患名、疾患重症度、ICTを用いた病院間情報連携とくに画像連携の有無、搬入から治療開始までの時間。30日死亡率。</p>
外部への試料・情報の提供	<p>自施設のみで利用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多施設共同研究グループ内（提供先：順天堂大学健康データサイエンス部）（提供方法：電子データの郵送）</p> <p>その他（提供先： ）（提供方法： ）</p> <p>* データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。送付するデータはすでに匿名化されております。</p>
研究組織	<p>研究代表機関</p> <p>旭川医科大学外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野 東 信良</p> <p>共同研究機関</p> <p>岩手医科大学内科学循環器内科分野 森野禎浩</p> <p>大分大学 心臓血管外科学 宮本伸二</p> <p>大阪大学 循環器内科学 坂田泰史、岡田佳築</p> <p>熊本大学 循環器内科学 辻田賢一</p> <p>慶應義塾大学 医学部医療政策管理学 宮田裕章</p> <p>榊原記念病院 循環器内科 磯部光章、高山守正</p> <p>順天堂大学 臨床薬理学 佐瀬一洋</p> <p>同 健康データサイエンス部 大津 洋</p> <p>特定非営利活動法人日本遠隔医療協会 長谷川高志</p> <p>帝京大学 救急医学講座 森村尚登</p> <p>医学研究所北野病院 荻野 均</p> <p>東邦大学医療センター佐倉病院 心臓血管外科 本村 昇</p> <p>東北大学 外科病態学講座心臓血管外科学 齋木佳克</p>



	<p>同 救急医学講座 久志本成樹 済生会八幡総合病院 古森公浩 奈良県総合医療センター 上田裕一 福島県立医科大学 会津医療センター附属病院 横山 斉 関西医科大学 血管外科 森景則保</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 心臓血管外科 荻野 均</p> <p>連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 心臓血管外科 荻野 均</p> <p>研究代表者： 旭川医科大学外科学講座血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野・教授 東 信良</p>